

〔 A類英語コース, B類英語コース 対象 〕

学校推薦型選抜 解答例 令和7年度

小 論 文

I 解答例

数世紀に渡って、私たちは大気中に2.4兆メートルトンの二酸化炭素を放出してきた。大気中の二酸化炭素濃度は産業革命以降ほぼ倍増し、地球はますます危険なレベルまで温暖化している。この問題に対処するため、二酸化炭素を回収する様々な技術が開発されつつある。二酸化炭素回収を推進する人々は、これらの技術の発展が今後大気中の二酸化炭素濃度を下げる助けとなると主張するが、二酸化炭素の回収と貯蔵は、そもそも現在の気候の非常事態の元凶である巨大石油企業による目くらましであり、しかもその技術で利益を上げようとしていると憤慨している人もいる。また、二酸化炭素回収という魔法のような方法があると考え、石油などを地球から採掘し続けるリスクに無頓着になる、という道德的危険もはらんでいる。二酸化炭素回収賛成派は、将来の排出量を削減することと、すでに排出した二酸化炭素の影響を元に戻すことの両方を同時に行う必要があると言っている。(402字)